

# 水島港港湾計画資料

— 一部変更 —

平成22年3月

水島港港湾管理者  
岡山県

## 目 次

I. 変更理由	1
II. 港湾計画で定める機能別の計画に関する資料	2
II-1. 水域施設計画	2
III. その他の資料	3
III-1. 環境の保全に関する資料	3
III-2. 資金計画	5
III-3. 新旧対照図	6
III-4. 地方港湾審議会名簿	7

## I. 変更理由

自動車専用船の大型化に対応するとともに、船舶の航行調整及び滞船の解消を図るため、玉島地区において、水域施設計画を変更する。

## Ⅱ. 港湾計画で定める機能別の計画に関する資料

### Ⅱ-1. 水域施設計画

#### (1) 概要

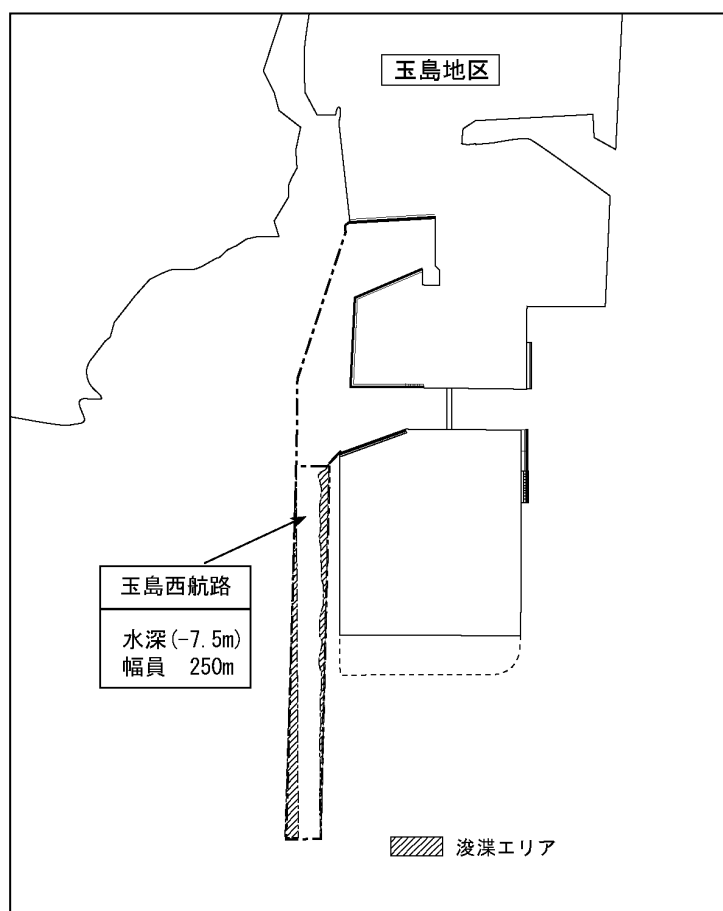
自動車専用船の大型化に対応するとともに、船舶の航行調整及び滞船の解消を図るため、航路を計画する。

#### (2) 規模及び配置

航路の規模及び配置は、表Ⅱ-1-1 及び図Ⅱ-1-1 に示すとおりである。

表Ⅱ-1-1 航路の規模及び配置

地区名	種別	水深 (m)	幅員 (m)	水深及び 幅員設定の 考え方	配置及び法線 の考え方
玉島地区	航路 (既設の変更計画)	-7.5	250	12,700GTの自動車専用船に対応	船舶の入出港における安全性、周辺水域の利用状況等を考慮して配置する。



図Ⅱ-1-1 航路計画位置図

### Ⅲ. その他の資料

#### Ⅲ-1. 環境の保全に関する資料

##### (1) 基本方針

今回計画が周辺環境に与える影響と評価は、以下に示すとおり選定項目ごとに予測・評価を実施した。

##### 1) 項目の選定

項目の選定については、表Ⅲ-1-1 に示すとおりである。

表Ⅲ-1-1 項目の選定

環境要素の区分		項目	選定理由等
大気環境	大気質	二酸化窒素	今回計画の内容により選定した。
水環境	水質	水の汚れ	
生物	生物	海生生物	
	生態系	生態系	

##### 2) 予測及び評価の考え方

予測及び評価の考え方については、表Ⅲ-1-2 に示すとおりである。

表Ⅲ-1-2 予測及び評価の考え方

環境要素の区分		予測	評価
大気環境	大気質	今回計画に定められる事項による環境への影響を考慮し、定性的に予測した。	今回計画により周辺環境へ著しい影響を及ぼさないこと。
水環境	水質		
生物	生物		
	生態系		

## (2) 環境への影響と評価

### 1) 大気質への影響と評価

本計画変更に伴う周辺の大気質に及ぼす影響としては、船舶の大型化による影響が考えられるが、本計画変更における船舶からの負荷量は大型化に伴う船舶隻数の減少により、既定計画に比べて小さくなることから、大気質への影響は軽微であると考えられる。

### 2) 水質への影響と評価

本計画変更においては、現航路幅である 150mを 250mに拡幅するものであり、その一部を浚渫することにより、海底の一部を改変することになる。そのため、潮流の変化による水質の変化が考えられるが、港内全域からみた浚渫範囲はごくわずかであり、潮流の変化に大きな影響を及ぼすことは考えられないことから、水質への影響は軽微であると考えられる。

### 3) 生物への影響と評価

本計画変更においては、現航路幅である 150mを 250mに拡幅するものであり、その一部を浚渫することにより、海底の一部を改変することになるが、水質への影響が軽微であると予測されることから、海生生物への影響は軽微であると考えられる。

### 4) 生態系への影響と評価

本計画変更においては、計画変更に伴う生物への影響が軽微であると予測されることから、生態系への影響は軽微であると考えられる。

## (3) 総合評価

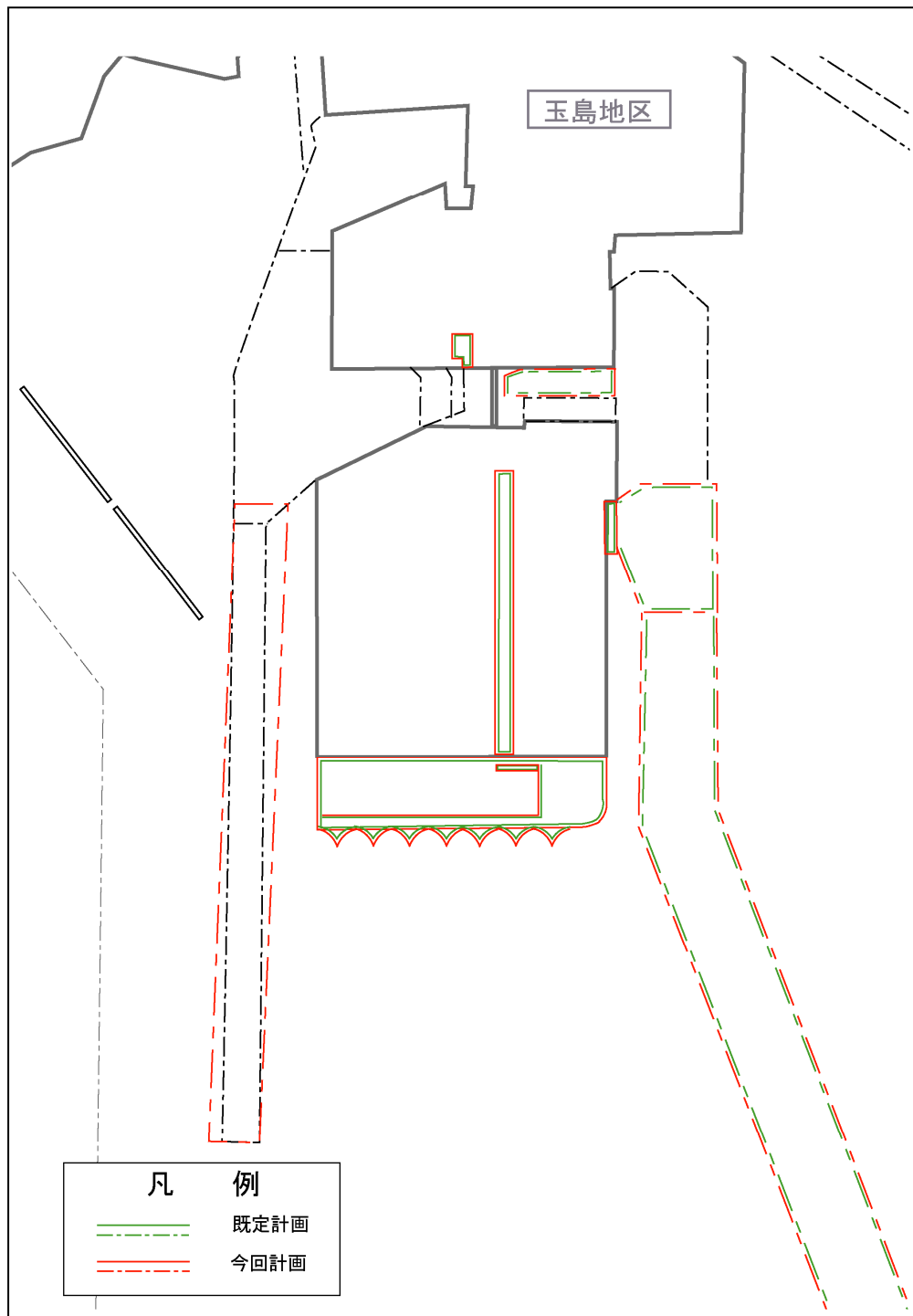
今回計画が周辺環境に与える影響について評価を行った結果、本計画変更に伴う周辺環境への影響は軽微であると考えられる。

なお、今回計画の実施にあたっては、工法、工期等について十分に検討し、十分な監視のもとに環境に与える影響を小さくするよう配慮し、慎重に実施するものとする。

### Ⅲ－２．資金計画

地 区	施設区分	工 種	単位	数量	事業費 (百万円)
玉 島	水域施設	航路 (-7.5m)	万 m <sup>3</sup>	34	1,700

### Ⅲ-3. 新旧对照图



图Ⅲ-3-1 新旧对照图



### Ⅲ－４．地方港湾審議会名簿

#### 岡山県地方港湾審議会水島港部会委員名簿

<b>1 学 識 経 験 を 有 す る 者</b>	
千葉 喬三	国立大学法人 岡山大学 学長
井上 欣三	国立大学法人 神戸大学 名誉教授
内田 和子	国立大学法人 岡山大学大学院 教授
山本 幸子	山本幸子一級建築士事務所 建築士
片山 浩子	社団法人 中国地域ニュービジネス協議会 副会長
金澤 寛	独立行政法人 港湾空港技術研究所 理事長
<b>2 港 湾 関 係 者</b>	
岡崎 彬	岡山県商工会議所連合会 会長
奥野 雄二	岡山県漁業協同組合連合会 会長
小坂 貞昭	岡山地区旅客船協会 会長
東野 正信	内海水先区水先人会 副会長
江藤 孝治	中国地方港運協会 副会長
末長 範彦	岡山県倉庫協会 会長
田上 雅敏	岡山県船主協議会 理事長
梅田 達也	全日本海員組合尾道支部 支部長
<b>3 市 町 村 を 代 表 す る 者</b>	
伊東 香織	倉敷市長
<b>4 県 議 会 の 議 員</b>	
神宝 謙一	岡山県議会議員
加藤 浩久	岡山県議会議員
<b>5 関 係 行 政 機 関 の 職 員</b>	
藤江 真二	財務省 神戸税関 水島税関支署長
福田 功	国土交通省 中国地方整備局長
石井 繁次	国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局長
谷 義弘	海上保安庁 第六管区海上保安本部 水島海上保安部長 水島港長